

「書道Ⅱ」(指導と評価の年間計画)

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材等
芸術	書道Ⅱ	2	2年	書道Ⅱ(東京書籍)	ペン字テキスト (応用編)

到達目標 (学習指導要領)	書道Ⅰの基本を踏まえ、さらに幅広い表現が出来るようにし、自己表現力、創造力、観賞力を育成する。歴史的書作品の理解を深め、同時に今日的書作品の在り方を考える。
到達に向けての 具体的取り組み (指導上の留意点)	創作を中心に授業を展開し、大作に取り組むことにより表現力を高めていく。漢字仮名交じり書が生活に生かせるように工夫する。また甲骨文・金文・篆書・隸書を学ぶことで、書道史への理解を深め、同時に表現力の幅を広げる。

月	単元・教材名	指導内容	評価の方法	評価の観点
4 5	漢字のルーツを 探る。 甲骨文字 金文 泰山刻石 清代吳熙載篆書	漢字の成立と変遷について理解する。 篆書の用筆法、字形の取り方 篆書の特徴 半切二行作品制作	提出作品 学習過程観察 作品ファイル 批評会	意欲 態度 技能 工夫
6 7	姓名印篆刻  隸書 礼器碑	姓名を字書で検字する。 制作過程に篆書の知識を生かし、姓名印を作る 隸書の用筆法、逆筆の運筆を学ぶことにより、筆毛の弾力を生かした線を習得する。	提出作品 学習過程観察 個別批評 作品ファイル 批評会	意欲 態度 技能 工夫
8 9 10	夏休み課題 草書 真草千字文 名品を書く 古典臨書	ペン字テキスト 草書の運筆リズムを学び次の 創作につなぐ。 書道コンクール出品	提出作品 学習過程観察 作品ファイル 提出作品	意欲 態度 技能 工夫
11 12	漢字仮名交じり の書 創作 半裁 全紙  裏打ち表具	書美の要素を再認識する研究 構成の研究 自分の書きたい言葉・詩にこだわり、詩のイメージにかなった表現になるよう、線質・構成・墨色を工夫する。試行錯誤から書きこむことにより、大作品を充実させ仕上げる。 完成作品をパネルに表具する。 天王寺美術館高校書道展出品	提出作品 学習過程観察 個別批評 作品ファイル 制作ノート 批評会	意欲 態度 技能 感受  工夫 独創性
1 2	仮名創作 俳句の創作	年賀状 単体創作・連綿創作・変体仮名 を利用した創作・散らし書き 作品サイズを縮小して短冊形式まで	提出作品 学習過程観察 作品ファイル 批評会	意欲 態度 技能 工夫
3	創作千鳥扇	俳句作品の千鳥扇仕上げ	提出作品	技能 工夫

